

着任のごあいさつ

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

生命の息吹がみなぎる季節が巡ってきました。心地よい春風とともに、子供たちの夢と希望にあふれる春の光にあふれています。



しかし残念なことに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、不透明・不測の事態の中、新年度を迎えることになってしまいました。

今、世界は、混迷の中にあります。この混沌とした状況を、数か月前まで、誰が想像したでしょうか。問題のウイルスは、人類がその英知を結集しても、いまだにその本当の姿を解明できていないようです。

私たち一人一人に求められていることは、専門家が発信する正確な情報を捉え、分析し、社会の構成員の一人として責任ある行動をとることです。

第一義は、「すべての命を守る」ことであろうかと思えます。

新型コロナウイルスは、感染しても無症状であったり、症状が軽かったりすることも多く、その場合でも他者に感染させる危険があるという特徴を持ちます。

重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に、無症状者や軽症者から感染が広がる危うさがあります。自分一人くらい、私たちのグループくらい平気だろう、という甘えと過信を払拭して、私たち一人一人が責任を持って、「すべての命を守る」という気概を持つことが肝要です。

命は、一人に一つしかありません。私たち教職員一同は、今後のすべての判断の根拠として、かけがえのない「すべての命を守る」という観点を第一義とします。

前置きが長くなってしまいました。

本日4月1日付けで、加賀田 真理 校長先生の後任として着任した 稲垣 達也 と申します。緑豊かな広々とした学び舎で、子供たちの生き生きとした姿と出会い、とても嬉しく思います。

私の教職は、昭和61年、中学校教諭がはじまりでした。中学校4校で担任をしながら、技術・家庭科を教えていました。その後、区教育委員会指導主事、統括指導主事、指導課長、都教育委員会指導部主任指導主事を経て、現職に至ります。その間、大島町立第二中学校で副校長と、東久留米市立第三小学校と昭島市立玉川小学校で校長を務めさせていただきました。

振り返りますと、中学校教諭として16年間、教育行政職として8年間、副校長として2年間、校長職として10年間、務めさせていただいたことになります。

70年という歴史と伝統ある富士見丘小学校の校長として、バトンを引き継ぐ今、身の引き締まる肅然たる思いで襟を正しております。混沌とした世界情勢においても本質を見抜き、人間に特有の意味と価値を発見できる底力を涵養するための学びの場の充実に命を賭けて励む所存です。

精一杯努力し、責任を果たして参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

追伸

（登校日を含めて）学校が再開しましたら、本校の子供たちに、下図のような「校長先生カード」をお渡しします。

子供たち一人一人を大切に、心のつながりを密にしていきたいと存じます。



おもて



うら